

加賀温泉駅全天候型広場施設(ガレリア)の官民連携に関する サウンディング型市場調査について

令和 7 年5月 22 日

1. 調査の経緯

本市では、北陸新幹線加賀温泉駅開業に伴う駅周辺整備を進めており、令和 8 年春に駅前広場中心部の全天候型広場施設(ガレリア)の完成をもって広場全体のグランドオープンを予定しています。

本施設は本市の賑わいの拠点となるよう広場全体の有効活用を考えており、維持管理コストの縮減を図りつつ持続可能な運営をするためにも、民間ノウハウを活かした官民連携による管理が有効であると考えております。

そこで、官民連携の導入の可能性について、サウンディング型市場調査を実施しました。

2. これまでのサウンディング型市場調査への参加事業者

17 社

3. サウンディング型市場調査の結果概要

- ・賑わい創出のためには、観光客だけでなく市民にも常時来てもらえるようにすることが重要。
- ・多様な層の人に来てもらえるよう、発表の場など様々な使い方を見せていく必要があると思う。
- ・ある程度の音響設備などを揃えておいた方が使い勝手が良く、イベント利用は増えると思う。
- ・ゆのまち加賀、アビオシティ加賀、美術館などの周辺施設と連携してイベントを実施できるとよい。
- ・専属スタッフが常駐しなければ、利用者とのやりとりやネットワークづくりが難しく、良い使い方ができないと思う。
- ・大型ディスプレイは、静止画ではなく動画をふんだんに流したほうがよい。
- ・通常時は加賀市の四季の風景を流し、初めて訪れた人をもてなすほか、天気予報や観光情報などを提供。
- ・イベント利用としては、スポーツやコンサートなどのパブリックビューイングなどが有効な使い方だと思う。
- ・駅利用者の目に入るので、広告やリアルタイムの防災情報などを流せる仕様にした方がよい。
- ・ガラス屋根等の清掃時期に希望がある場合、ある程度の期間を設定してほしい。
- ・温泉や九谷焼、山中塗などの加賀市らしさが体験できる施設であるとういと思う。

4. 今後の進め方

今回の調査でいただいたご意見を参考に官民連携手法を確定し、公募等の資料作成を行いたい。